

テーマ	新しいカタチ ～やりたいことやってみよう～
テーマ 設定理由	昨年度大会での提案である、“リーダー研究大会の在り方について”「各都県が来て良かったと思えるリーダー研究大会とする。その為に、事前会議(調査)の内容から主催都県を中心にどうしたら参加者全員が満足できるかを考え、工夫する」を基に、東京都リーダーと指導者で検討し決定。

◆期日

平成29年10月28日(土)～10月29日(日)

◆場所

BumB 東京スポーツ文化館(東京都)



平成30年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
 ブロック研究大会ポスター報告会
 関東ブロック(担当:東京都リーダー代表者 郷 地洋)

◆参加対象

関東各都県(東京都を除く):指導者1名、リーダー5名以内

東京都(主催):指導者7名以内、リーダー10名以内

◆参加者(内訳)

	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	神奈川県	山梨県	東京都	合計
リーダー	2名	3名	5名	3名	2名	3名	5名	23名
指導者	1名	1名	1名	1名	1名	1名	3名	9名
事務担当者	1名							1名
合計	4名	4名	6名	4名	3名	4名	8名	33名

※茨城県は都合によりリーダー、指導者共に欠席

◆経費

参加料:1人2,000円 旅費:参加者負担…等

◆運営スタッフの体制・運営方法

開催県(東京都)のリーダー会会員・指導者が開催準備及び運営をする。

平成30年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
ブロック研究大会ポスター報告会
関東ブロック(担当:東京都リーダー代表者 郷 地洋)

◆日程

1日目:10月28日(土)

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会式
オリエンテーション
- 14:00 全体会
『各都県報告』
1年トライアル報告の
新しいカタチ
- 18:00 分科会①
『過去大会を知る』
- 19:00 夕食
- 20:00 分科会①
『過去大会を知る』

2日目:10月29日(日)

- 6:30 起床・清掃・荷物整理
- 7:00 早朝活動
- 8:00 朝食
- 9:00 分科会②
『もしも・・・自分達が
第1回リーダー研究大会を開催
するとしたら』
- 12:00 昼食
- 13:00 全体会
- 14:00 閉会式

TOKYO



◆プログラム概要

全体会①

『1年トライアル報告』

・共通トライアル報告

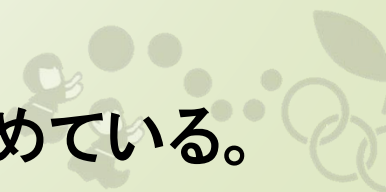
①引継ぎノート ②交流会の実施

上記のことについて1年間各都県で取り組み、その結果を発表。

・各都県トライアル(自由方策)

各都県ごとに共通トライアルとは別に、
1年間各都県で取り組むテーマをリー研の最後に決めている。

TOKYO



◆プログラム概要

全体会①

『対談会(情報交換)』

1都県と1都県の15分間のフリーな時間

先のトライアル報告を受け、気になったことなどを聞く場
 それ以外にも自都県で困ってることを相談する場

①	埼玉ー栃木	山梨ー神奈川	千葉ー東京
②	山梨ー栃木	埼玉ー東京	群馬ー神奈川
③	埼玉ー山梨	群馬ー栃木	千葉ー神奈川
④	山梨ー東京	千葉ー栃木	埼玉ー群馬
⑤	神奈川ー東京	山梨ー群馬	埼玉ー千葉
⑥	群馬ー東京	山梨ー千葉	神奈川ー栃木
⑦	東京ー栃木	群馬ー千葉	埼玉ー神奈川



TOKYO



◆プログラム概要

分科会①

分科会A,B

「テーマ:

全国のブロックリー研をまとめて、見える化＆分析」

分科会C

「テーマ:

関東のブロックリー研の1巡目と2巡目をまとめる＆
分析」



平成30年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会 ブロック研究大会ポスター報告会 関東ブロック(担当:東京都リーダー代表者 郷 地洋)

◆プログラム概要 分科会②

「もしも・・・自分達が第1回リーダー研究大会を開催するとしたら」

分科会

新人チーム

テーマ:現状と課題 ～情報交換をして、他県がやっていることを知ろう!!～

主旨: 関東ブロック内スポーツ少年団での相互研修を通し、
関東ブロック内各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化を行い、

	1日目	2日目
6:00		
30		
7:00		退所準備
30		早朝活動
8:00		朝食
30		都県会
9:00		都県会→～情報交換を通して～
30		1日目の情報交換を通して得た持ち帰れる情報を
10:00		まとめる、各都県の課題解決につながるように
30		カレー作り
11:00		カレー作り目的(交流)
30		お互いのことを知る、研修後も繋がる関係作りを
12:00	受付	作る
30	開会式	
13:00	オリエンテーション	全体会
30	アイスブレイク	閉会式
14:00	各都県会長による現状報告	
30	全体会(座談会)	
16:00	全体会(座談会)→8都県総当たり	
30	各30分ずつ	
17:00	『情報交換』	
30	各都県の情報を交換し、お互いを知る良い情報を	
18:00	たくさん吸収する!	
30	入室	
19:00	夕食	
30	入浴	
21:00	打ち合わせ&就寝	
30		

分科会

中堅チーム

テーマ:他県を知ろう

主旨: 関東ブロック内スポーツ少年団での相互研修を通し、
関東ブロック内各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化を行い、

	1日目	2日目
6:00		
30		朝の会
7:00		朝食
30		
8:00	・今回の大会をまとめて、次回大会に引き継ぐことが あれば、この1年間東としてどう進むか全体で確認する 例)1年トライアル ・次回大会のテーマを考える、決める 「大会の日程の枠を固定して、1枠1県係り分担して 大会を運営する」という意見が出たため関東全体で 運営するために、全体でテーマを決めておく	
9:00		まとめ 次回への引き継ぎ
30		
10:00	・都県の現状をパワポ等で全体に発表する ・都県別に質問、良いところをまとめる ・全体で都県について質問、ほめる (全都県必ず聞く) 例) 東京に対し、7県が順に質問、ほめる 東京は全体に向けて答える ・各都県別にまとめる	
11:00		昼食
30		
12:00	現状報告 質疑応答+めっちゃほめる時間	閉会式
13:00		
30		
14:00		
30		
15:00		
30		
16:00	レクづくり	・新人からベテランまで混ぜ たグループを作る (レクの時間を先輩たちや他 県はどう運営しているのかを 知るため) ・新たなレクを作る ・レクを実践する
17:00		
30		
18:00	実践	
30		
19:00	夕食	
30		
20:00	反省	
30		
21:00		
30		
22:00		
30		

平成30年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会 ブロック研究大会ポスター報告会 関東ブロック(担当:東京都リーダー代表者 郷 地洋)

◆プログラム概要 分科会②

「もしも・・・自分達が第1回リーダー研究大会を開催するとしたら」

分科会 ハッテンタ

趣旨：関東ブロック内スポーツ少年団での相互研修を通し、
関東ブロック内各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化を行い、
将来の指導者としての資質向上を目指す

《大会テーマ》

「お互いのリーダー会を知る!!」

	1日目	2日目
6:00		
7:00		Good morning!!
8:00		朝日の集い
9:00		朝食
10:00		分科会① フラズ&J
11:00		～全体会①の意義をピックアップ!～
12:00	昼食	昼食
13:00	開会式・オリエンテーション	
14:00	全体会①	全体会②
15:00	～大討論～	～発表～
16:00	阿部裕子・澤田	お別れレクリエーション
17:00	阿部裕子・澤田	閉会式
18:00	懇別会 ① TALKテーマ	解散 後 - !!
19:00	お別れ BBQ & !!	
20:00	～交流ネットワークづくり～	
21:00		
22:00	FREE	

分科会 指導者 テーマ「共に伸びよう、絆を深めよう」

趣旨：関東ブロック内スポーツ少年団での相互研修を通し、
関東ブロック内各都県及び市区町村リーダー会の充実・強化を行い、
将来の指導者としての資質向上を目指す

- ・「開催地」というがいわんはいい。実行委員方式。
- ・会場は毎回「東京のオリンピックセンター」
- ・参加者：リーダー：3人×8＝24人・指導者
- ・6月の全リーダーで★の具体的な内容を決め各県役割り分担する

	1日目	2日目
6:00		
7:00		朝食
8:00		早朝活動・退所準備
9:00	集合・受付 ～10:00	★
10:00	★スポーツ活動	各都県の指導者と各都県の参加リーダーが 有識者
11:00		(将来の指導者としての資質向上を目指す)
12:00	昼食	昼食
13:00	閉会式	今後1年、力をくれる活動地 各都県で決めて発表する
14:00	★講演	閉会式・解散
15:00	★テーマディスカッション (分科会)	
16:00	(リーダー会の充実強化に関する内容)	
17:00		
18:00		
19:00	立食110-ティ(レストラン貸切)	
20:00		
21:00	展示 フリータイム	
22:00	(自由対談)	

◆プログラム概要

分科会② まとめ

【新人】

情報交換要素が多め。

野外炊飯での交流はベテランチームと似ている。

【中堅】

研修と交流要素が多め。

関東全体でリー研を作ろうという色が出ている。

【ベテラン】

交流要素が多め。

何かを持ち帰るのではなく、より交流を目的として野外炊飯をチョイス。

【指導者】

研修と交流要素が多め。

開催場所が固定、実行委員方式を提案。



◆大会を開催した成果、反省、課題

成果

- ・全体会①内で座談会(情報交換の場)を設けた事により、各都県が気になっている事などを気兼ねなく聞いた
- ・大会テーマがリー研に対して前向きな姿勢で取り組める良いテーマだった。

反省

- ・時間配分が甘かった
→その為、各プログラムの満足度が100%ではなかった
- ・開催都県の準備不足
→直前の変更が必要だった為、その共有が不十分だった。

TOKYO



◆大会を開催した成果、反省、課題
課題

- ・テーマの継続型か一大会完結型
- ・事前会議の実施

- ◆昨年度の全国リーダー連絡会で協議・検討したことが
どれくらい活かされたか
- ・大会開催1か月前だったので、方針確認と連絡事項程度だった。